

---

# **俺達の日常**

津田花

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

俺達の日常

### 【著者名】

Z0989D

### 【作者名】

津田花

### 【あらすじ】

お前に俺達が何者か分かるか？まあ、分かりたくも無いだろうが  
……。

(前書き)

私の今日の出来事をあこひらの田線で書いてみました( ^ \_ ^ )ゞ  
すべて台詞のみです。  
ジャンル設定に困ったのでその他にしておきました。  
どうでもいい情報ですね( 、 、 ) =

「うーつす。」

「芥川？」「昨日と比べてえらく離れてるね？」

「ああ。昨日奴が腹に蹴り入れやがった！」

「」主人様に向かつて”奴”とは失礼ですよー。」

「うぬせえチビ。お前もうつてゐからつていい気になるなよ。」

「チビじゃない……徹<sup>てつ</sup>です！芥川さん」そ名前もうつてゐじやないですか？」

「うぬせえー。」

「まあまあ。」

「まあまあ。」

「白いのと黒いのは黙つてる……。」

「ほつておけ。どうせ枕レベルのやつひだ。」

「ああ。」

「……。」

「それより、今日のマスターは朝食から戻るのが遅いナ。」

「今日は祝日ですね。」

「そうです。」

「そうです。」

「あ、マスターが来タ。」

「……。」

「相変わらずテンション低い奴だな。」

「よし。」

「なにが”よし”だ。」

「失礼ですよ。」

「あ、出で行つタ。」

「お出かけなさるんですかね？」

「またきた。」

「またきた。」

「何か持つてル。」

「ヤバい！－！」

「何がです？」

「掃除だ。」

「ヒイ－！－！－！」

「ヤバい！－！ヤバいぞ。本格的に綺麗にしてやがる。」

「来ましたーー！」

「オウ……かわいいわ！」

「行っちゃった。」

「行っちゃひつた。」

「出始めはクマが。あいつは幸せだよな。」

「年中處てますしね。」

「ああ。」

「シャラップーーー今何か聞こえませんでしたか？」

「は？」

「グフッ…」

「ヒヤー……」

「戻ってきた。」

「戻ってきた。」

「次は……」

「どうせなら先にしてくれ……。」

「無駄ですよ。」

「マスターの耳にはミラーたちの声は届かない。」

「わかつてら……今のは神に言つたんだ!」

「助けて。」

「助けて。」

「こべりのこと黒このも、かわいそひです。」

「どひせ全員やるんだ。ミーたちも時間の問題だ。」

「戻つてきた。」

「次は……」

「//—?」

「私達ですか。」

「行つてこ。」

「はあ。待つってのはかえって拷問だな。」

「来やがった……」

「よし最後。」

「くつ……」の綿の体が動けば……！……蹴りの仕返しをつ……

「ああ、ついに窓に来ちました。」

「芥川さん。頑張つて……下さー。私達はもう……。」

「徹つ……お前、本当はいい奴つ……痛てつ……グフツ……！  
ぐわあつ……うおつ……何でつ……毎回つ……そのまつ……  
その棒つ……なんだよつ……ガハツ……！」

「見るのも痛いナ。」

「はい。」

「痛かったね。」

「痛かったね。」

「ぐはっ！……ガハッ！……もひっ……いいつ……だろっ！……  
うおつ……だまつ……」

「長いネ？」

「はい……。」

「何でつ……俺だけつ？……

「一番始めに買つたからじや無いつすか？」

「俺はつ……ヒツヨツ……キヤチャーツ……だつ。」

「ミーはオーストラリアの衝動買いサ。」

「私は……言いたくないですね。」

「ぐはっ……ぐわあっ……」

「ふう。やっと終わつたぜ。」

「綺麗にして頂けるのはありがたいですが、こつも不定期ですと、予測しずらくて困ります。」

「イエス。」

「納得。」

「納得。」

「どうせ今日も休みだからって、ダラダラするんだろうな。」

「掃除も終わりましたしね。」

「田に見えてル。」

「ダラダラ。

「ダラダラ。」

(後書き)

お疲れさまです。

ありがとうございました( ^ ^ )

句詞だけって難しいですね(ーーーーー)

あいつらが誰か分かりましたか?

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0989d/>

---

俺達の日常

2010年10月21日06時33分発行